

★ちば県議会だより

NO.172

党派等別議員数		
党派等名	略称	議員数
自由民主党千葉県議会議員会	自民党	52人
立憲民主・千葉民主の会	立千民	17人
公明党千葉県議会議員団	公明党	8人
千翔会	千翔会	4人
日本共産党千葉県議会議員団	共産党	2人
平和の党	平和党	1人
社民党	社民党	1人
千葉県民の声	県民声	1人
市民ネットワーク	市民ネ	1人
リベラル民主	リベ民	1人
無所属議員	無所属	5人

定数94人 現員93人 (令和3年7月13日現在)

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行 千葉県議会 編集 千葉県議会事務局政務調査課 千葉市中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話 043(223)2523 FAX 043(222)4073 千葉県議会 検索

6月 定例会議会のあらまし

6月定例会議会は、6月17日に招集され、7月13日までの27日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、令和3年度一般会計補正予算等の議案31件、報告14件が上程され、知事から提案理由説明と新型コロナウイルス感染症等について報告がありました。

また、質問初日の6月23日には議案2件が追加上程され、うち1件を先議とし、所管の常任委員会(総務防災・健康福祉・商工労働)で審査した後、本会議において、原案のとおり可決されました。

6日間にわたり行われた代表質問および一般質問は、20名の議員が登壇し、知事の政治姿勢をはじめ、財政問題、新型コロナウイルス感染症対応、防災対策、福祉、道路、教育問題等について活発な議論が展開されました。

6月30日の質問最終日には、副知事の選任同意についての人事案件1件が上程され、同意されました。

7月5日・6日には、予算委員会が開催され、令和3年度補正予算について審査されました。

7月7日・8日には各常任委員会が開催され付託された議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。

閉会日には、令和3年度補正予算関係の議案2件が追加上程され、知事から提案理由説明があった後、所管の常任委員会(総務防災・環境生活警察・商工労働・文教)に付託され、具体的・専門的な審査が行われました。

本会議再開後、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、追加上程された議案を含む34件の議案全てが原案のとおり可決・承認されました。

その後、追加上程された人事案件2件が同意され、続いて、議員発議案17件のうち5件(条例1件、規則1件、決議1件、意見書2件)が可決されました。

また、任期満了に伴う各常任委員会委員が選任され、正副委員長の互選が行われました。

続いて、山中操議長、木下敬二副議長の辞職により、正副議長選挙が行われ、議長に信田光保議員、副議長に江野澤吉克議員が選出されました。

最後に、任期満了に伴う議会運営委員会委員が選任され、今定例会に付議された全ての案件の審議を終了しました。

6月定例会議会 代表質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 6月 検索

6月24日(木)



千翔会
水野 友貴 議員
(我孫子市)

- 知事の政治姿勢
- 新型コロナウイルス感染症対策
- 児童虐待防止
- 教育行政
- 防災・治水対策
- 外来種対策



公明党
赤間 正明 議員
(市川市)

- 知事の政治姿勢
- 新型コロナウイルス感染症対策
- 防災対策
- 医療・福祉対策
- 教育問題
- 動物愛護

6月23日(水)



立千民
鈴木 陽介 議員
(四街道市)

- ダイバーシティの推進
- ワクチン接種の加速化
- 持続可能な水政策
- 医療的ケア児への支援体制強化
- 政策総動員の気候変動対策
- 少人数教育のための教員確保



自民党
伊藤 昌弘 議員
(佐倉市・印旛郡酒々井町)

- 知事の政治姿勢
- 新型コロナウイルス感染症への対応
- 北総鉄道の高運賃問題
- 防災対策
- 児童虐待防止対策
- 県内の幹線道路ネットワーク

議長、副議長紹介



第75代議長
信田 光保 議員
(自民党 銚子市・香取郡東庄町 5期)



第73代副議長
江野澤 吉克 議員
(自民党 袖ヶ浦市 4期)

7月13日(閉会日)本議会において、第75代議長に信田光保議員、第73代副議長に江野澤吉克議員が選出されました。就任に当たり、信田議長は「今回のコロナ禍では、対応に当たられている医療従事者の皆様に感謝申し上げるとともに、県民一丸となってこの苦境を乗り越えるべく、議会機能の一層の充実・強化と、県民に開かれた議会運営を目指し、630万県民の負託と信頼に応え、誠心誠意、その職責を果たしたい。」と抱負を述べました。

また、江野澤副議長は「議長を支え、公正かつ円滑な議会運営のため全力を尽くしたい。」とあいさつしました。

4月 臨時県議会のあらまし

4月臨時県議会は、4月20日に招集され、熊谷知事から就任に当たり、あいさつがありました。

その後、令和3年度一般会計補正予算等の議案7件、報告1件が上程され、知事から提案理由説明があり、質疑が行われた後、所管の常任委員会(総務防災・健康福祉・環境生活警察・商工労働・農林水産)に付託されました。

本会議再開後、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、原案のとおり可決・承認されました。

続いて、副知事の選任同意等の人事案件3件が同意され、今臨時会に付議された全ての案件の審議を終了しました。

飲酒運転根絶と交通事故防止に関する決議

去る本年6月28日、本県八街市において、学校から下校途中の小学生の列に酒気を帯びた運転者が運転するトラックが突っ込み、児童2人のかけがえのない尊い命が奪われ、3人が重篤となる痛ましく筆舌に尽くし難い事故が発生した。この悲惨な事故に、県民は大きな衝撃を受け、飲酒運転は絶対に許されるべきではないと決意した。

今回の事故は、運転者が酒気を帯びた状態で運転していたことが、一番の要因であり、飲酒運転で検挙される者が後を絶たない現状において、飲酒運転の根絶に向けての対策を一層強化することが必要である。そのため、運転者及びその雇い主の徹底した法令順守をはじめとした、県民の交通安全意識を向上させるための啓発や指導體制の充実も急務となっている。

また、今回の事故現場は、通学路でありながら歩道やガードレールが未設置で十分な交通安全対策が取

られていなかったことも課題として浮き彫りとなり、改めて児童生徒の通学路の点検を行い、危険箇所においては、全力を挙げて必要な交通安全対策を講じていくことも急務である。

これまで県では、交通死亡事故の根絶を図るべく様々な交通安全対策を講じ、その効果も見られてきているとの認識があったが、私たちは、いまだにその対策が十分でないことを改めて痛感した。

よって、本県議会は、「人優先の交通安全思想」の下に、関係機関・団体はもとより家庭、学校、職場、地域など、県民が一体となって飲酒運転を根絶するための施策展開を強く求めるとともに、全国に誇れる安全で安心な千葉県の実現に向けて行動することを、ここに宣言する。

以上、決議する。
令和3年7月13日

千葉県議会

代表質問から



知事 政治姿勢

知事は、今後の県政運営にどのように取り組んでいくのか。

県政運営において重要なことは、県議会とともに千葉県の総力を結集することである。

そのためには、県庁組織の活性化を図るとともに、地域の課題や可能性を的確に把握し、民間の力を活用していくことが重要である。

そこで、職員採用や人材育成の充実、職員との対話や現場視察、ダイバーシティの推進などに取り組むとともに、市町村、経済界や各種団体と十分に対話を行い、行政の力と県民の英知を結集していく。

その上で、まずは新型コロナウイルスや自然災害への対応など山積する課題に積極果敢に取り組む、県民の命と暮らしを守る県政を実現していく。

また、本県のさらなる発展や、県民生活の向上を図るため、これまで培ってきた財産を継承し、デジタル化の進展など社会環境の変化を的確に取り入れながら、さまざまな分野において未来への投資を行い、千葉県の未来を切り開く所存である。

具体的には、
・半島性を克服する交通インフラの充実と県全体における経済の活性化
・都会に近い場所にある豊かな緑や海、文化を生かした地域の活性化
・少子高齢化時代に対応した子育て支援や、教育、医療・福祉の充実など、千葉県の特徴を生かした施策を展開するとともに、年齢、性別、国籍などに関わりなく、誰もが個性と能力を發揮し、その人らしく生きていくる共生社会の実現を目指していく。

知事として、県内の市町村とどう向き合い、市町村長との連携をどう高めるか。

どのように高めるか。

県では、これまで知事と市町村長が集まり、意見交換を行う場として、市町村長会議を開催するなど、県のさまざまな施策に対して、市町村の意見や要望を反映してきているが、より緊密な意見交換が必要である。就任以降、台風被害からの復旧・復興に取り組んでいる南房総地域や成田空港を視察し、市町村長と意見交換を行った。

今後、既存の会議体での意見交換に加えて、各市町村を訪問するなどさまざまな機会を通じて、地域の事情や課題等について、市町村長と率直な意見交換を行い、市町村とともに課題解決に向けて取り組んでいく。

2050年脱炭素社会実現に向けた省エネルギーの促進や、再生可能エネルギーへの転換に加え、廃プラスチックの削減、再利用など、資源循環への実効性ある取り組みを行うべきと考えるか。

県では、「千葉県地球温暖化対策実行計画」に基づき、住宅への再生可能エネルギー設備等の導入に対する助成や、事業者向けの省エネセミナーの開催、県民向けのSNS等を活用した情報発信などにより、温室効果ガス排出量の削減に取り組んできた。また、本年3月には「第10次千葉県廃棄物処理計画」を策定し、廃棄物のさらなる減量化・再資源化を進めるとともに、新たにSDGsの視点から、食品ロスの削減やプラスチックの循環利用等に重点的に取り組むこととしている。

今後は、地球温暖化対策推進法の改正趣旨を踏まえ、実行計画の見直しを行うこととしており、脱炭素社会の実現に向け、さまざまな主体と連携し、さらなる取り組みを推進していく。

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症が拡大している中で、児童・生徒の心のケアや、家庭が抱える課題に、県教育委員会として、どのように対応していくのか。

感染症による影響が長期化する中で、昨年度のスクールカウンセラーへの相談においては、感染への不安の訴えや、活動自粛に伴うストレスの増大などの事例が、小学生に多く見られたと報告されている。

また、スクールソーシャルワーカーからの報告の中には、保護者の失業に伴う進路相談や、家庭で十分な食事を取れなくなった事例なども見受けられることから、児童・生徒に対する心理面、福祉面からの支援の必要性がさらに増しているものと認識している。

このような状況を踏まえ、県教育委員会では、スクールカウンセラーの全ての小学校への配置や、各教育事務所にスクールソーシャルワーカーを増員するための補正予算を計上したところであり、引き続き、児童・生徒が健やかに生活することができるよう、きめ細かな相談や支援を行っていく。

追加提案された事業者支援事業の予算は、県としてどのような考えに基づいて編成したのか。

新型コロナウイルス感染症の長期化により、多くの事業者に影響が生じていることから、国は、こうした事業者の支援を目的とした臨時交付金を創設した。

今回、県ではこの交付金を活用し、感染症の影響により売り上げが大幅に減少している中小企業者等を幅広く支援するための支援金の給付・地域の公共交通事業者が行う感染防止対策設備の導入に対する補助・飲食店の感染防止対策を促進するための認証制度の全県実施について、予算を計上した。

内事業者が、新型コロナウイルス感染症の収束後も事業を継続していくよう、しっかりと支援していく。

新型コロナウイルス感染症対応特別資金について、融資の利用状況はどうか。

また、据え置き期間が終了する事業者への対応はどうか。

県内の中小企業は売り上げの減少など大きな影響を受けており、資金繰りを支援するこの特別資金の令和3年4月末時点の融資利用は、約4万2千件、約7500億円となっている。

この利用件数のうち、約7割が元金返済の据え置き期間が1年以内となっており、すでに元金の返済期限が到来し、中には返済が困難な事業者も出てきていると承知している。

このため、県では、金融機関に対して、事業者の状況に応じた据え置き期間の延長など柔軟な対応を繰り返し要請しており、また、資金繰りに関する窓口を設置して相談に応じている。

北総鉄道の高運賃問題に対して、どのように取り組んでいくのか。

北総鉄道の高運賃問題については、まず長期債務の縮減を図り、会社の経営安定化を図ることが重要であると認識している。

一方で、会社の経営状況は昨年度まで20期連続で黒字を計上し、累積損失も着実に減少するなど、高運賃問題への対応に向けた経営環境は整いつつある。

こうした中、今月18日に同社の室谷社長と会談し、会社の決算や財務状況を聞く中で、早ければ令和4年度中にも累積損失を解消できる見込みであるとの発言があったため、私から高運賃問題についての検討を要請したところ、社長から「積年の課題である運賃値下げの可能性の検討に着手したい」との大変前向きな話があった。

防災対策

災害に強い千葉県をつくるため、市町村との連携や危機管理体制をどのように強化していくのか。

災害の状況を的確に把握し、被災者のニーズに迅速に対応するためには、地域の実情に精通した市町村と一体となった取り組みが重要であり、これまで訓練の共同実施や備蓄情報の共有を進めてきた。

県としては、各地域に所在する県の機関も含め、市町村との連携を一層深めるとともに、危機管理体制の強化に向けては、他県で発生した大規模災害に派遣した職員が得た、実践的なノウハウを蓄積し、防災政策に生かすなどの災害対応力の向上を図っていく。

また、発災時において機動的に対応ができるよう、さまざまな災害を想定した訓練を積み重ねるとともに、民間事業者との協体制の構築やSNSなどを活用した情報の収集・発信を一層強化するなど、災害に強い千葉県づくりに取り組んでいく。

さらに、危機管理体制は平時からの取り組みが重要であり、地域振興事務所の見直しを含めた体制強化を図るとともに、私自身も日頃から市町村との連携強化に努めていく。

今後、児童虐待防止に向けてどのように取り組んでいくのか。

県では、職員の対応力向上のため、昨年度、中央児童相談所に設置した人材育成研修課において実施している、職種や階層別の研修を充実させ、子どもや保護者へのきめ細やかな支援が可能となるよう取り組んでいる。

さらに、業務効率を向上させ、ケースワークの進捗管理を適切に行うた

め、今月から各児童相談所に公用スマートフォンを順次配布するほか、親族関係を理解するためのジェノグラム作成機能等を有する新たな業務支援システムを今年度中に稼働させるなどICT化を推進し、児童相談所の体制を強化していく。

また、社会的養護の受け皿整備も重要であることから、里親委託の一層の推進に努めるとともに、民間児童養護施設2カ所の新設についてその整備目標を令和6年度から5年度に前倒しして整備できるよう取り組んでいく。

これらの取り組みにより、「千葉県子どもを虐待から守る基本計画」に定められた目標達成に向けて着実に前進していく。

県内の幹線道路ネットワーク

圏央道や北千葉道路、新たな湾岸道路などの広域的な幹線道路ネットワークの充実・強化に向け、どのように取り組んでいくのか。

県内外とのスムーズな人・モノの流れを強化し、県内を広く活性化させ、さらには防災力の強化を図るためにも、圏央道などの広域的な幹線道路ネットワークの整備は、大変重要である。

このため、圏央道については、大栄・横芝間の令和5年度の開通に向け、国や東日本高速道路株式会社と協力するとともに、北千葉道路については、新規事業化された区間の早期整備に向け国に協力し、残る市川市から船橋市間の早期事業化を国に働きかけていく。

新たな湾岸道路については、沿線市の意見を踏まえて策定された基本方針に基づき、早期に計画の具体化が図られるよう、国に協力していく。

県としては、引き続き、銚子連絡道路や長生グリーンラインなどのアクセス道路も含め広域的な幹線道路ネットワークの充実・強化が図られるよう、国や関係機関などと連携し、積極的に取り組んでいく。

6月定例会議会より

- ▽可決・承認・同意された議案・発議案
- ◆令和3年度補正予算関係(9件)
- ▽一般会計(4件)
- ▽特別会計(5件)
- ◆条例の一部改正(13件)
- ▽職員の特種勤務手当に関する条例
- ▽千葉県県税条例
- ▽千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例
- ▽多摩行進又は集団運動に関する条例等
- ▽使用料及び手数料条例
- ▽婦人保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等
- ▽保護施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ▽千葉県新型コロナウイルス感染症に係る臨時の医療施設の開設等の迅速化及び円滑化に関する条例
- ▽ふくごの取扱い等に関する条例
- ▽県が管理する県道の構造の技術的基準を定める条例
- ▽千葉県県立特別支援学校設置条例
- ▽高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る信号機等に関する基準を定める条例
- ▽千葉県水道事業工業用水道事業及び造成土地管理事業の設置等に関する条例
- ◆その他(16件)
- ▽契約の締結(4件)
- ▽財産の取得
- ▽首都高速道路株式会社が行う高速道路事業の変更
- ▽訴えの提起
- ▽損害賠償の額の決定及び和解
- ▽専決処分承認(4件)
- ▽副知事の選任同意
- ▽監査委員の選任同意(2件)
- ◆議員提出
- ◆条例・会議規則の一部改正
- ▽千葉県県政活動費の交付等に関する条例
- ▽千葉県県議会会議規則
- ◆可決された決議・意見書
- ▽飲酒運転根絶と交通事故防止に関する決議
- ▽義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- ▽国における令和4年度教育予算拡充に関する意見書

4月臨時県議会より

- ▽可決・承認・同意された議案
- ◆令和3年度補正予算関係
- ▽一般会計
- ◆条例の制定
- ▽知事等の給料の特例に関する条例
- ◆条例の一部改正
- ▽特定非営利活動促進法施行条例
- ◆その他(7件)
- ▽専決処分の承認(4件)
- ▽副知事の選任同意
- ▽教育委員会教育長の任命同意
- ▽公安委員会委員の任命同意



総務防災常任委員会

問 避難所等における電源確保のための外部給電可能車両を貸与する千葉県オルトヨタとの協定について、どのくらいの市町村で活用することが想定されるのか。

答 令和元年の災害に伴う経験を踏まえ、停電対策の一層の強化のため、県内全市町村から活用の申し出があったところである。

総合企画企業常任委員会

問 地域公共交通感染防止対策補助事業により、どのような効果が得られると考えているのか。

答 本事業の効果としては、事業者負担の軽減が図られることにより、感染防止設備の導入が進むとともに、アフターコロナ時代を見据え、利用者の地域公共交通に対する安心感を醸成し、継続して利用してもらうことにつながっていくものと考えている。

健康福祉常任委員会

問 新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの供給量が7月に入って少なくなっているとの報道があるが、7月末を目標とする高齢者への接種に影響はないのか。

答 高齢者分のワクチンについては、全ての高齢者に2回接種できるだけの量がすでに市町村に

配分されており、接種の進捗に影響はない。

環境生活警察常任委員会

問 子どもから高齢者まで、県民全てが安心・安全に暮らせるよう、県として、交通安全対策にどう取り組んでいるのか。

答 第11次千葉県交通安全計画を策定し、高齢者や自転車の交通安全対策の強化、飲酒運転や酒後運転などの悪質・危険な運転者対策の強化等を重点項目とし、高齢者や子どもの交通事故の防止、自転車安全利用の推進、交通指導取り締まりの強化等を図る。

また、飲酒運転根絶に向けて、飲食店や事業所など、地域が一体となった交通安全運動の推進により、「飲酒運転をしない、させない、ゆるさない」環境づくりに取り組んでいく。

商工労働常任委員会

問 中小企業等事業継続支援金について、法人20万円、個人10万円の一律の支援金と、酒類販売事業者への上乗せ支援金はそれぞれ別に申請する必要があるのか。

答 酒類販売事業者が、一律の支援金と上乗せ支援金の両方を受給する場合については、手続きの簡素化や迅速な支給につなげる観点から一度の申請で済むように申請様式等を工夫していく。

農林水産常任委員会

問 令和三年は飼料用米への大幅な転換が進んだとのことだが、転換面積はどの程度か。

答 県が6月末に取りまとめた

ところ、目標の5千ヘクタールを大幅に上回る7千ヘクタールを超える見込みである。

また、市町村や農協など、関係団体による一層の働き掛けなどにより飼料用米への大幅な転換につながったものと推測される。

県土整備常任委員会

問 八街市での事故を受け、県は道路管理者として通学路の交通安全対策について、どう取り組んでいくのか。

答 今回の事故を受け、教育委員会や警察と連携し、小学校の通学路において、緊急一斉点検を行い、この点検結果を基に、必要な交通安全対策に取り組んでいく。

文教常任委員会

問 新学習用ネットワーク整備事業では、生徒所有の端末などを活用することだが、操作性の違いへの対応で生徒および教員の負担が増えないのか。

答 操作に慣れた自分の端末を利用できることや、学習に活用するソフトウェアを共通化することで端末やOSの違いにより発生する問題を最小限にしているなど、生徒および教員の負担軽減に努める。



議会において同意・選出された委員・議員

監査委員	瀧田 敏幸(自民党) 武田 正光(自民党)
かずさ水道広域連合企業団議員	吉本 充(自民党)

(令和3年7月13日現在)

議会運営委員会委員

現員/定数	16 / 16
委員長	今井 勝 (自民党)
副委員長	林 幹人 (自民党)
委員	山本 義一 小池 正昭 岩井 泰憲 石井 一美 中村 実 伊豆倉雄太 秋本 享志 高橋 祐子 木名瀬訓光
	天野 行雄 入江 晶子 守屋 貴子
	赤間 正明 田村 耕作
	谷田川充丈
委員外議員	みわ 由美
	西尾 憲一(平和党) 小宮 清子(社民党) プリティ長嶋(県民声) 伊藤とし子(市民ネ)
	秋葉 就一(リベ民) 坂下しげき(無所属) 川井 友則(無所属) 田沼 隆志(無所属)
	市原 淳(無所属) 松崎 太洋(無所属)

(令和3年7月13日現在)

4月臨時県議会各常任委員会の主な質疑から

総務防災常任委員会

問 知事等の給料月額等減額措置の趣旨は何か。

答 また、期間や減額率をどのように設定した理由は何か。

答 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県民や県内事業者以外自粛や営業時間の短縮など、協力してもらっている。知事は、感染拡大による県内の厳しい社会経済情勢などを踏まえ、給料等の減額を実施することとした。

健康福祉常任委員会

問 4月以降の高齢者・障害者

問 まん延防止等重点措置区域における飲食店の見回り調査について、具体的にどのように行うのか。

答 対象区域内の飲食店について、対象期間に集中的に見回り、座席の間隔の確保や換気の徹底などの確認を行うことで、対策の徹底を図っていく。

商工労働常任委員会

問 まん延防止等重点措置区域に適用される区域内の施設については、5月に2回実施する。

答 なお、まん延防止等重点措置が適用される区域内の施設については、5月に2回実施する。

令和3年9月定例県議会
会期および議事・委員会予定(素案)

月日	議事・委員会予定	開議時間
9月15日	開会 TV 午前10時	
22日	質疑並びに一般質問 TV //	
24日	// TV //	
27日	// //	
28日	// //	
29日	// //	
30日	// //	
10月4日	常任委員会(健康福祉・文教) //	
5日	// (総合企画企業・商工労働) //	
6日	// (環境生活警察・県土整備) //	
7日	// (総務防災・農林水産) //	
12日	閉会 午後1時	

※本案はおおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会で協議されます。傍聴される場合は、議会ホームページで最新の情報をご確認ください。

TV ……チバテレビでの生放送されます。
PC ……パソコン、スマートフォンなどでインターネット中継をご覧になれます。

常任委員会委員

常任委員会名	総務防災	総合企画企業	健康福祉	環境生活警察	商工労働	農林水産	県土整備	文教
現員/定数	12 / 12	12 / 12	12 / 12	12 / 12	11 / 11	10 / 11	12 / 12	12 / 12
委員長	石井 一美 (自民党)	實川 隆 (自民党)	小路 正和 (自民党)	中村 実 (自民党)	中沢 裕隆 (自民党)	小池 正昭 (自民党)	齊藤 守 (自民党)	三沢 智 (自民党)
副委員長	川名 康介 (自民党)	小野崎正喜 (自民党)	岩井 泰憲 (自民党)	宮川 太 (自民党)	森 岳 (自民党)	伊豆倉雄太 (自民党)	田中幸太郎 (自民党)	茂呂 剛 (自民党)
委員	浜田 穂積 鈴木 昌俊 山中 操 武田 正光 木名瀬訓光	穴倉 登 本間 進 今井 勝 佐藤健二郎	伊藤 和男 川名 寛章 石橋 清孝 佐野 彰 伊藤 寛	河上 茂 信田 光保 江野澤吉克 鈴木 衛 高橋 祐子	小高 伸太 阿部 紘一 秋本 享志 高橋 秀典	酒井 茂英 木下 敬二 林 幹人	宇野 裕 阿井 伸也 瀧田 敏幸 鶴岡 山本 山本 義一	吉本 充 白井 正一 伊藤 昌弘 鈴木ひろ子 宮坂 奈緒
	田中 信行 網中 肇 鈴木 陽介	河野 俊紀 矢崎堅太郎 野田 剛彦	磯部 裕和 入江 晶子	大川 忠夫 守屋 貴子	天野 行雄 菊岡たづ子	竹内 圭司	高橋 浩 隆政	安藤じゅん子 平田 悦子
	藤井 弘之	阿部 俊昭	仲村 秀明	横山 秀明	赤間 正明	鈴木 和宏	秋林 貴史 水野 友貴 大崎 雄介	田村 耕作 岩波 初美
						谷田川充丈		加藤 英雄
	一人会派 無所属議員	プリティ長嶋 (県民声) 秋葉 就一 (リベ民) 坂下しげき (無所属)	市原 淳 (無所属)	小宮 清子 (社民党) 伊藤とし子 (市民ネ)	川井 友則 (無所属) 田沼 隆志 (無所属)	西尾 憲一 (平和党) 松崎 太洋 (無所属)		

(令和3年7月13日現在)

ちば県議会だより

6月定例県議会 一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 6月 検索

6月25日(金)



自民党 白井 正一 議員 (千葉市美浜区)

千葉県生涯大学校
水素エネルギーの活用
新型コロナウイルス感染症対策
ちばアクアラインマラソン



公明党 鈴木 和宏 議員 (市原市)

新型コロナウイルス感染症への
対応
防災
高齢者の活躍・雇用支援
自転車事故への対策



自民党 田中 幸太郎 議員 (市川市)

知事の政治姿勢
新型コロナウイルスワクチン接種
雇用政策
運転免許行政



立千民 守屋 貴子 議員 (市川市)

医療
地域公共交通
防災対策
食品ロス

6月28日(月)



自民党 小路 正和 議員 (いすみ市)

フェーズフリー政策
コロナ禍における中小企業、零細事業者に対する支援
あんまマッサージ指圧師、はり師、さゆう師及び柔道整復師
給食費の無償化



自民党 伊豆倉 雄太 議員 (市原市)

人口減少
企業誘致
教育問題
中核地域生活支援センター



自民党 鈴木 ひろ子 議員 (船橋市)

県政ビジョン
新型コロナウイルス感染症対策
児童相談所
道路整備



立千民 大川 忠夫 議員 (千葉市花見川区)

介護施設における職員の不足・空きベッド
社会的養護に関する諸施策
里親
子育てを取り巻く課題



市民ネ 伊藤 とし子 議員 (佐倉市・印旛郡酒々井町)

霞ヶ浦導水事業
農業問題
学校における講師の未配置問題
太陽光発電設備の設置の規制

6月29日(火)



立千民 菊岡 たづ子 議員 (市原市)

福祉型児童発達支援センター
要介護者・要支援者への支援
中小企業支援
高滝ダムの管理



自民党 中村 実 議員 (船橋市)

HUAWEE
LGBT
教科書採択
知事の靖國神社参拝



自民党 森 岳 議員 (木更津市)

介護人材への支援
災害時のAへの活用
東京湾漁業の振興
ボランティアへの支援



自民党 三沢 智 議員 (館山市)

海岸漂着物
教育問題
水産業の推進
安房合同庁舎の再整備



自民党 木名瀬 訓光 議員 (野田市)

児童虐待防止対策
青少年の健全育成
企業誘致
収入証紙

6月30日(水)

千葉県議会ホームページ

県議会情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

主な掲載内容

- 県議会議員の紹介 ○傍聴のご案内
○インターネット中継(ライブ・録画)
○会議録検索 ○会議の概要
○議会図書室の利用案内
インターネット中継
本会議および予算委員会の模様を過去3年分視聴できます。(スマートフォン・タブレット端末でも視聴可)



4月臨時県議会 質疑

4月20日(火)



立千民 矢崎 堅太郎 議員 (浦安市)

医療政策
ギャンブル依存症
HSP
県立高校



自民党 高橋 秀典 議員 (旭市)

千葉県農業の持続的発展
堆肥利用による循環型農業の促進
就職情報サイトの充実
公立小中学校におけるICT学習環境



市民ネ 伊藤 とし子 議員 (佐倉市・印旛郡酒々井町)

感染拡大防止対策協力金事業
高齢者・障害者入所施設等職員
へのPCR検査

6月定例県議会 知事あいさつ

諸般の報告

新型コロナウイルス感染症について申し上げます。本県の新規感染者数が4月中旬から増加に転じ、4月20日から、まん延防止等重点措置が適用されたことを受け、県では、東葛・葛南の5市について、まん延防止等重点措置を講ずるべき区域としました。さらに、4月28日には、まん延防止等重点措置を講ずるべき区域に、千葉市など7市を追加するとともに、区域内の飲食店において酒類の提供を行わないよう要請し、まん延防止等重点措置については、今月20日まで延長されているところです。この間、県では、病床の確保やPCR検査体制の充実をはじめ、医療提供体制の強化に、引き続き取り組んでまいりました。先月には、接待を伴う飲食店の従業員に対するPCR検査や、飲食店の感染防止対策認証モデル事業を開始し、さらには、高齢者向けのワクチン接種を早期に完了することが重要であることから、市町村が集団接種のために医師・看護師等を確保する場合に支援を行うとともに、今月からは、県による集団接種を、千葉市および松戸市において、開始したところです。6月に入ってからは、隣接する東京都において、新規感染者数は下げ止まりの傾向にあるものとみられ、人流の増加、変異株の拡大の影響もあり、予断を許さない状況となっております。本県においても、このところ新規感染者数が増加している地域が見られ、引き続き警戒が必要です。県では、今月21日以降の対応について、まん延防止等重点措置が延長される前提で、検討を進めているところです。現在、国と協議中であり、新たに示される基本的対処方針等を踏まえ、県民や事業者の皆様に対する協力要請の内容や、まん延防止等重点措置を講ずるべき区域などを決定してまいります。この他、県内の視察状況について報告がありました。

令和3年度補正予算案

このたび提案致しました案件は、令和3年度6月補正予



算、各種条例案およびその他附帯議案の31議案のほか、報告14件です。令和3年度6月補正予算は、当初予算が「骨格予算」であったことから、「肉付け予算」として政策的な判断を要する経費や新規事業、投資的経費のうち新規着手分などを中心に、1つとして、新型コロナウイルス感染症対策について、万全を期すこと。2つとして、先の臨時議会でお示した政策ビジョンのうち、「防災・防犯・交通安全対策の強化」「子育て・教育施策の充実」「千葉経済圏の確立」「インフラの充実」など、各分野にわたり早期に実現可能な事業や重点的に実施すべき施策についての確に 대응すること。以上の2点を基本的な考え方として編成しました。この結果、一般会計の6月補正予算額は、1,857億1,900万円で、これまですでに6回の補正予算を編成していることから、補正後の予算額は2兆3,112億200万円となります。この他、主な施策として「新型コロナウイルス感染症対策」、「防災・防犯・交通安全対策の強化」、「千葉経済圏の確立」、「インフラの充実」などの概要説明がありました。さらに、提出された主な議案の概要についての説明の後、「東京2020オリンピック・パラリンピック」について報告がありました。知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧いただけます。

予算委員会



予算委員会が7月5日(月)と7月6日(火)の2日間開催され、令和3年6月補正予算案とこれに関係する議案について、横断的かつ多角的に審査が行われ、活発な議論が展開されました。

Table with 2 columns: Position (委員長, 副委員長, 委員) and Name (江野澤吉克, 斉藤守, etc.)

(令和3年6月23日現在)